

# 東京



東京編集部  
〒100-8077  
東京都千代田区  
大手町1-7-2  
☎ 03-3275-8747  
FAX 03-5255-6634  
shuto@sankei.co.jp  
広告 042-525-4138  
購読申し込み  
0120-70-3034  
配達・集金  
0120-34-4646  
紙面・記事  
0570-046460

Web  
http://www.sankei.com/  
region/region.html

## あすのこよみ

(16日)  
旧4月2日  
(大安)



月齢	0.6
日出	4:36
日入	18:40
日出	5:18
日入	19:24
満潮	4:52
	18:05
干潮	11:34
	23:54
大潮	(東京)

江戸時代に開削された玉川上水の分水路の一つ、品川用水。武蔵野から品川までの大地を潤し、明治、大正と受け継がれたが、昭和20年代に埋められ姿を消した。「放っておけば忘れ去られる水路の存在を記録にとどめ、今後の都市設計に生かすべきだ」と、建築家で水辺の暮らし研究家、農学博士でもある渡部一二・多摩美大名誉教授(79)は、街を歩いて品川用水の「面影」を集める活動を続けている。

(石塚健司)

## 品川用水を調査 渡部一二・多摩美大名誉教授

### 各所に手がかり

世田谷区桜丘。千歳通りの両側に、玉石を積んだ石垣が続く一角がある。「品川用水はここで丘陵を切り通して掘られたので、法面に玉石を積んで補強した名残です」と渡部さん。このあたりで緩やかに蛇行する千歳通り自体が、品川用水跡を道路にしたものなのだ

## TOKYO まち・ひと 物語

このような場所を渡部さんは「面影ポイント」と呼び、かつての教え子らと調査を進め、案内マップ入りの冊子を作っている。「手がかりはいろんなところにある。たとえば植物。植生によって水があったことが分かる。水神(地藏)もそうだし、『水車橋』というバス停の名前はかつてそこに水車があったことを教えてくれた。耳を澄ませば水路の音が聞こえてくる」

## 失われた水路の「面影」たどる



く。幼少時の思い出話から、ホテル狩りや野菜洗いなど、水辺の暮らしの様子を掘り起こす。水路が写った昔の写真が見つかることもある。

**部分的再生は可能**  
渡部さんが玉川上水と分水路網に興味を持ったのは50年近く前。東京芸大美術学部大学院で環境設計を専攻し、国内や世界の大都市の「水空間」を調査研究していた。玉川上水の分水路の多さや通水システムの巧みに驚き、「失われた分水路網を再生できないか」と考えたという。

その後、水のある空間のデザイン、設計を多く手がけた渡部さんは、昭和63年、岐阜県八幡町(現・郡上市)に水路を生かした街づくりのプランを提案し、



品川用水の面影を残す玉石垣の前に立つ渡部一二さん—世田谷区桜丘

水路を埋める計画から方向転換させるきっかけをつくった。

「水路のある生活環境は貴重な宝。私たちの住む東京でも、分水路を再生し、水とともに発展した江戸の生活や文化、情緒を体感できる場所にできれば素晴らしい。そのための一歩として、分水路網の面影を掘り起こし、記録して残そうと考えた」

分水路網全体をよみがえらせるのは困難だが、部分的な再生は可能

品川区版、世田谷区版の冊子を希望者に有料で提供するという。申し込みは渡部さん(☎090・4669・8258)へ。

**品川用水** 品川にあった細川家下屋敷の庭の池のため掘られた水路を1669年、灌漑(かんがい)用水として拡張し、整備されたと伝えられる。現在の武蔵野市で玉川上水から取水され、三鷹市、世田谷区、目黒区を経て、品川区で目黒川に注いでいた。全長に

ついては27\*、29\*の2説があるが、33あった玉川上水の分水路の中でも最長級の長さだったという。昭和初期まで水田などを潤わせたが、市街地拡大とともに暗渠(あんきょ)化が進み、昭和27年までにほとんどが埋められ、今は道路や下水道になっている。

## の事前協議を義務化



駅周辺の夜間照明

## 夜景をもっと魅力的に

都は魅力的な夜景づくりに向け、大型ビルや高層マンションを新たに建設する業者に対し、夜間照明に関する都との事前協議を義務化した。適度なライトアップを広め、陰影に富んだ都市の景観を演出したい考え。省エネに配慮した発光ダイオード(LED)照明を進める制度。都は3月、建築物の高さや外観、屋外広告といった従来の項目に「夜間照明」を追加した。

景観基準では、近隣との調和を図りつつ、予定地周辺の樹木や歴史的な遺構などのライトアップや間接照明の活用により「光と影を効果的に用い、美しい空間を整備する」よう業者側に求める。

LED照明や同程度の環境性能を待つ照明器具を更

都は今夏までの約3カ月間を試行期間として、関係者の意見を聞いた上で正式に導入する方針。担当者は「夜間照明で、東京の違った魅力を引き出したい」としている。

**基本に返す**  
千客万来施設  
築地市場(中央区)の移転、豊州市場(工区)